



Service Registry 3.1 リリース ノート (Windows 版)



Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No: 820-1823
2007 年 2 月

本書で説明する製品で使用されている技術に関連した知的所有権は、Sun Microsystems, Inc. に帰属します。特に、制限を受けることなく、この知的所有権には、米国特許、および米国をはじめとする他の国々で申請中の特許が含まれています。

U.S. Government Rights – Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本製品には、サードパーティーが開発した技術が含まれている場合があります。

本製品の一部は Berkeley BSD システムより派生したもので、カリフォルニア大学よりライセンスを受けています。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびにほかの国における登録商標です。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴマーク、Solaris のロゴマーク、Java Coffee Cup のロゴマーク、docs.sun.com、Java、Solaris は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。Sun のロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPEN LOOK および SunTM Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカルユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPEN LOOK GUI を実装するか、または米国 Sun Microsystems 社の書面によるライセンス契約に従う米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

この製品は、米国の輸出規制に関する法規の適用および管理下にあり、また、米国以外の国の輸出および輸入規制に関する法規の制限を受ける場合があります。核、ミサイル、生物化学兵器もしくは原子力船に関連した使用またはかかる使用者への提供は、直接的にも間接的にも、禁止されています。このソフトウェアを、米国の輸出禁止国へ輸出または再輸出すること、および米国輸出制限対象リスト (輸出が禁止されている個人リスト、特別に指定された国籍者リストを含む) に指定された、法人、または団体に輸出または再輸出することは一切禁止されています。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われないものとします。

目次

1 Service Registry 3.1 リリースノート	5
Service Registry 3.1 の新機能	6
Service Registry の新しいアクセスポート	6
Service Registry のインストールパス名	6
新しい設定ターゲット名	6
障害を持つユーザー向けのアクセシビリティ機能	7
実装に固有の API	7
デフォルトのパスとファイル名	7
ハードウェアとソフトウェアの要件	8
サポートが終了する機能について	8
ユーザー登録メカニズム	8
Service Registry 3.1 のマニュアル	8
今回のリリースで修正されたバグ	9
既知の問題点とバグ	10
6248218: バージョン管理された RegistryPackage のコンテンツが失われる	10
6248293: Classification がオブジェクトの古いバージョンと新しいバージョンの両方に追加される	10
6248418: Classification、ExternalIdentifier、または Slot を追加すると、ExternalLink が削除される	11
6359188: ユーザーが所有している非推奨オブジェクトとの間に関連付けを作成しようとしても、IllegalStateException が発生しない	11
6374079: Person と User の詳細領域が同一ではない	11
6407168: 管理ツールの add association コマンドで紛らわしいエラーが出力される	11
6407974: 一時ディレクトリに多数のファイルが残される	12
6422192: Service Registry 3.0 で Service Registry 3.1 管理ツールを使用していると NullPointerException が発生する	12
6436598: ソースオブジェクトを削除または更新しても、カタログ化されたオブジェクトが WSDL カタログ化サービスによって削除または更新されない	12
6487653: オブジェクトの作成で「状態の設定または変更」ボタンが動作しない	

い	13
6499274: 変更したオブジェクトの状態が NULL	13
6500654: 「Classification ノードの選択」ウィンドウの説明とボタンが一致しない	13
6500668: 「ユーザー登録ウィザード」にアスタリスクに関する説明がない	13
6502100: WSDL カタログ化サービスがスラッシュで終了する <code>java.io.tmpdir</code> を処理しない	14
各国語化の問題	14
6276676: Web コンソールに、ローカライズされた文字列が表示されない	14
6493416: オンラインヘルプのリンクが英語ページになっている	15
6496070: イベントタイプ名が、どのロケールにも翻訳されていない	15
6499672: 英語以外のロケールで、オンラインヘルプのページが2ページ足りない	15
6500664: 日本語ロケールのオンラインヘルプで翻訳されていない文字列がある	16
6500673: 日本語ロケールで名前と住所の順序が正しくない	16
6500677: 日本語ロケールでオンラインヘルプに不正なリンクがある	16
6507818: 英語以外のロケールの『Service Registry ユーザーズガイド』が存在しない	16
6510165: 「詳細」タブのオブジェクト名が翻訳されていない	16
マニュアルに関する情報	17
6500315: オンラインヘルプのページが1ページ足りない	17
6501734: オンラインヘルプで、ディレクトリの探索用の名前が間違っている	17

Service Registry 3.1 リリースノート

このリリースノートでは、Service Registry 3.1 のリリース時点における重要な情報について説明します。ここでは、新機能と拡張機能、既知の問題点と制限事項、およびその他の情報が説明されています。Service Registry を使用する前に、このリリースノートをお読みください。

このリリースノートの最新バージョンは、Sun のマニュアル Web サイト <http://docs.sun.com> から入手できます。ソフトウェアをインストールおよび設定する前だけでなく、それ以降も定期的にこの Web サイトをチェックして、最新のリリースノートと製品マニュアルを確認してください。

このリリースノートは、次の節で構成されています。

- 6 ページの「Service Registry 3.1 の新機能」
- 7 ページの「デフォルトのパスとファイル名」
- 8 ページの「ハードウェアとソフトウェアの要件」
- 8 ページの「サポートが終了する機能について」
- 8 ページの「Service Registry 3.1 のマニュアル」
- 9 ページの「今回のリリースで修正されたバグ」
- 10 ページの「既知の問題点とバグ」
- 14 ページの「各国語化の問題」
- 17 ページの「マニュアルに関する情報」

このマニュアル内で参照している第三者の URL は、追加の関連情報を提供します。

このマニュアルには、Sun 以外の団体/個人の Web サイトに関する情報が含まれています。こうしたサイトやリソース上の、またはこれらを通じて利用可能な、コンテンツ、広告、製品、その他の素材について、Sun は推奨しているわけではなく、Sun はいかなる責任も負いません。こうしたサイトやリソース上の、またはこれらを経由して利用可能な、コンテンツ、製品、サービスを利用または信頼したことに伴って発生した (あるいは発生したと主張される) いかなる損害や損失についても、Sun は一切の責任を負いません。

Service Registry 3.1 の新機能

この節では、Service Registry 3.1 で新しく追加された機能と、サポートされている製品について説明します。

Service Registry の新しいアクセスポート

以前のポート値 6060 が、X ウィンドウシステム (X11) の使用のために IANA (Internet Assigned Numbers Authority) に登録された値と競合したため、Service Registry のデフォルトのアクセスポート値が変更されました。新しいデフォルトのアクセスポート値は 6480 です。現在、デフォルトの Service Registry ポートはすべて IANA に登録されています。

Java API for XML Registries (JAXR™) を使用している既存のクライアントをすべて、新しいポート値を使用するように変更してください。JAXR クライアントの場合、このポート値はプロパティー `javax.xml.registry.queryManagerURL` と `javax.xml.registry.lifeCycleManagerManagerURL` で指定します。プロパティーファイルにこれらのプロパティーが定義されている場合は、クライアントを再コンパイルする必要はありません。

Service Registry のインストールパス名

次の表に示すように、Service Registry のインストールパス名が変更されました。

表 1-1 Service Registry のインストールパス

説明	Java ES4 /パス名	Java ES5 /パス名
ベースインストールディレクトリ	C:\Sun\ServiceRegistry	C:\Program Files\Sun\JavaES5\srcv-registry
ドメインおよびデータインストールディレクトリ	C:\Sun\ServiceRegistry	C:\Program Files\Sun\JavaES5\srcv-registry\data

新しい設定ターゲット名

以前のリリースの Service Registry では、Service Registry の設定に使用した Ant ターゲットの名前は `install` でした。このリリースでは、ターゲット名は `configure` です。`install` ターゲットは下位互換性のために引き続きサポートされていますが、今後のリリースでは削除される可能性があります。詳細は、『Service Registry 3.1 Administration Guide』の第 1 章「Configuring and Setting Up Service Registry」を参照してください。

障害を持つユーザー向けのアクセシビリティ機能

このメディアの出版以降にリリースされたアクセシビリティ機能を入手するには、米国リハビリテーション法 508 条に関する製品評価資料を Sun に請求し、その内容を確認して、どのバージョンが、アクセシビリティに対応したソリューションを配備するためにもっとも適しているかを特定してください。最新バージョンのアプリケーションは、<http://sun.com/software/javaenterprisesystem/get.html> にあります。アクセシビリティに関する Sun の方針については、<http://sun.com/access> を参照してください。

実装に固有の API

Service Registry には Java API for XML Registries (JAXR) の Version 1.0 仕様が実装されています。JAXR Version 1.0 は、UDDI および ebXML Registry 2.0 仕様をサポートするように作成されたものです。Service Registry における JAXR の実装には、JAXR Version 1.0 に対する非標準の拡張機能が含まれています。

デフォルトのパスとファイル名

次の表は、このマニュアルで使用するデフォルトのパスやファイル名について説明したものです。

表 1-2 デフォルトのパスとファイル名

プレースホルダ	デフォルト値	説明
<i>ServiceRegistry-base</i>	C:\Program Files\Sun\JavaES5\srcv-registry	Service Registry のベースインストールディレクトリです。
<i>DomainRegistry-base</i>	C:\Program Files\Sun\JavaES5\srcv-registry	Service Registry の Application Server ドメイン、および Service Registry データベースが格納されるディレクトリです。
<i>Ant-base</i>	ServiceRegistry-base\install\ant	Java ES バージョンの Ant ツールが保存されるディレクトリです。

ハードウェアとソフトウェアの要件

この節では、Service Registry 3.1 をインストールする前に満たす必要のある要件について説明します。

ほとんどの部分で、Service Registry に対する要件は Sun Java System Application Server に対する要件と同じです。Application Server のディスク容量要件に加えて、次の表に記載されているディスク容量要件があります。

表 1-3 ハードウェアとソフトウェアの要件

コンポーネント	要件
オペレーティングシステム	Windows 2000 Advanced Server SP4
	Windows XP SP2
	Windows Server 2003 Enterprise Edition (32 ビット)
	Windows Server 2003 Enterprise Edition (64 ビット)
最小メモリー	512M バイト
推奨メモリー	1G バイト
最小ディスク容量	65M バイトの空き容量
推奨ディスク容量	100M バイトの空き容量
Java 仮想マシン (JVM)	J2SE™ Release 5_02

サポートが終了する機能について

ユーザー登録メカニズム

Service Registry のこのリリースは、独自のユーザー管理および認証メカニズムに依存しています。

Service Registry 3.1 のマニュアル

Service Registry のマニュアルセットは、<http://docs.sun.com/coll/1663.1> で入手できます。

今回のリリースで修正されたバグ

次の表は、Service Registry 3 で報告されたバグのうち、Service Registry 3.1 で修正またはクローズされたものを示しています。

表 1-4 このリリースで修正またはクローズされたバグ

バグ番号	説明
6290339	Organization オブジェクトに対して EmailAddress オブジェクトを取得できない
6297023	発行操作間で、ClassificationScheme の以前の表示が残ったままになる
6298946	Organization オブジェクト間に参照を作成しようとするエラーが発生する
6303812	ユーザー名が重複していると、不明なエラーメッセージが表示される
6305210	Application Server ドメインが英語以外のロケールを使用していると、Registry は英語のロケールを使用できない
6312083	検索によって予期しない結果が返される場合がある
6312094	証明書の識別名を作成するときに、登録ウィザードが必要な値を無視してしまう
6313327	再インストールのあと、Service Registry の設定に失敗する
6313791	-alias オプションを使用すると管理ツールが失敗する
6318002	ExtrinsicObject または ExternalLink を不正な Concept を使用して作成するとエラーが発生する
6323057	オブジェクト作成用の AuditableEvent を削除すると例外が発生する
6324423	「適用」ボタンをクリックする前にリポジトリ項目を表示しようとするとエラーが発生する
6338836	証明書のアップロードオプションを使用したユーザーアカウントの作成中に問題が発生する
6397404	WSDL カタログ化サービスが、見つからない依存関係についてユーザーに通知しない
6415812	java.lang.OutOfMemoryError: PermGen 容量エラー
6430997	Web コンソール文字列の一部がローカライズされない
6436398	Web コンソールにローカライズされた分類スキーマとノードが表示されない
6438523	「状態の設定または変更」コンボボックスが更新されない

表 1-4 このリリースで修正またはクローズされたバグ (続き)

バグ番号	説明
6443263	Association をクリックするとサーバーログに例外が記録される
6456272	「スロット」タブの「削除」ボタンをクリックすると例外が返される
6466376	WSDL カタログ化サービスが一時 ID の置換に失敗する
6470179	「Association」タブの「削除」ボタンをクリックするとエラーメッセージが表示される
6472233	定義済みクエリーを作成できない
6477124	「適用」ボタンをクリックしても「詳細」ページでの変更が適用されない

既知の問題点とバグ

次に示す既知の問題とバグは、Service Registry 3.1 リリースの操作に影響を与えません。

6248218: バージョン管理された RegistryPackage のコンテンツが失われる

問題の概要: バージョン管理が有効な場合、オブジェクトの新しいバージョンを作成するために RegistryPackage オブジェクトを変更すると、すべてのパッケージのコンテンツが新しいバージョンから消失します。

対処方法: バージョン管理を有効にしないでください。詳細は、『Service Registry 3.1 管理ガイド』の「レジストリオブジェクトのバージョン管理の有効化」を参照してください。

6248293: Classification がオブジェクトの古いバージョンと新しいバージョンの両方に追加される

問題の概要: バージョン管理が有効な場合、オブジェクトの 1 つのバージョンに Classification を追加してオブジェクトを保存すると、Classification が古いバージョンと新しいバージョンの両方に存在するようになります。

対処方法: バージョン管理を有効にしないでください。詳細は、『Service Registry 3.1 管理ガイド』の「レジストリオブジェクトのバージョン管理の有効化」を参照してください。

6248418: Classification、ExternalIdentifier、またはslotを追加すると、ExternalLinkが削除される

問題の概要:バージョン管理が有効な場合、ExternalLinkを持つオブジェクトにSlot、Classification、またはExternalIdentifierを追加すると、ExternalLinkがオブジェクトの新しいバージョンから消失します。

対処方法:バージョン管理を有効にしないでください。詳細は、『Service Registry 3.1 Administration Guide』の「Enabling Versioning of Registry Objects」を参照してください。

6359188: ユーザーが所有している非推奨オブジェクトとの間に関連付けを作成しようとしても、IllegalStateExceptionが発生しない

問題の概要:JAXR仕様では、ユーザーが、非推奨のオブジェクトとの間に関連付けを作成することは許可されていません。ただし、Service Registry JAXR プロバイダでは、その非推奨オブジェクトを所有しているユーザーであればこのような関連付けを作成できます。

6374079: Person と User の詳細領域が同一ではない

問題の概要:Person オブジェクトにはPostalAddress、EmailAddress、TelephoneNumber がすべて含まれていますが、ユーザーはPerson オブジェクトのDetails領域にこれらの属性を追加できません。

対処方法:Person オブジェクトの代わりにUser オブジェクトを作成してください。User オブジェクトには、これらのすべての属性を追加できます。

6407168: 管理ツールの add association コマンドで紛らわしいエラーが出力される

問題の概要:管理ツールのコマンド add association を発行して、そのユーザーに実行する権限のない関連付けを作成しようとすると、紛らわしいエラーメッセージが表示されます。たとえば、管理者でないユーザーがタイプ HasMember の関連付けを作成しようとすると、次のエラーメッセージが表示されます。

No Concept object exists for type: HasMember

6407974: 一時ディレクトリに多数のファイルが残される

問題の概要: WSDL カタログ化サービスは、サーバー上の、install.properties ファイルの java.io.tmpdir プロパティで指定されたディレクトリ内に XML および XSLT ファイルを残します。さらに、ユーザー認証プロセスは同じディレクトリ内に、.omar で始まり、サフィックスが .jks のファイルを残します。これらのファイルは、Registry ドメインが停止されるまで削除されません。

対処方法: 次の例のような名前のファイルは削除できます。変数 n は数字を表しています。

```
CanonicalXMLValidationService_OutputFilennnnn.xml  
InvocationControlFile_WSDLValidationnnnnn.xslt
```

6422192: Service Registry 3.0 で Service Registry 3.1 管理ツールを使用していると NullPointerException が発生する

問題の概要: cp や rm など、配備済みの Service Registry 3.0 バージョンのコマンドで Service Registry 3.1 管理ツールを使用すると、NullPointerException が発生します。

対処方法: Service Registry 3.1 管理ツールは Service Registry 3.1 でのみ使用し、Service Registry 3.0 では Service Registry 3.0 管理ツールを使用してください。

6436598: ソースオブジェクトを削除または更新しても、カタログ化されたオブジェクトが WSDL カタログ化サービスによって削除または更新されない

問題の概要: WSDL カタログ化サービスを使用して、Registry に WSDL ファイルを発行することによってサービスを作成すると、そのサービスの一部である多数のオブジェクトが Registry によって作成されます。このサービスまたは WSDL ファイルを削除または更新しても、これらのオブジェクトは削除または更新されません。このサービスまたは WSDL ファイルを削除または更新するときに、これらのオブジェクトを個別に削除または更新する必要があります。

対処方法:ありません。

6487653: オブジェクトの作成で「状態の設定または変更」ボタンが動作しない

問題の概要:オブジェクトの作成中には、「状態の設定または変更」ボタンがグレー表示になりません。ただし、まだ作成されていないオブジェクトの状態を設定または変更することはできません。このボタンをクリックすると、オブジェクトが見つからないというエラーメッセージが表示されます。

対処方法:作成中のオブジェクトの「状態の設定または変更」ボタンをクリックしないようにします。「適用」をクリックしてオブジェクトの作成を完了してから、そのオブジェクトを検索して状態を変更します。

6499274: 変更したオブジェクトの状態が NULL

問題の概要:新しいオブジェクトの状態はSubmittedです。しかしオブジェクトを変更して保存すると、状態がnullに変わります。状態はSubmittedのままであるべきです。

対処方法:ありません。

6500654: 「Classification ノードの選択」ウィンドウの説明とボタンが一致しない

問題の概要:検索領域で「Classification ノードの選択」をクリックすると、Conceptを選択したあとで「OK」をクリックするようにというテキストが表示されますが、ボタンのラベルは「閉じる」になっています。

対処方法:ありません。

6500668: 「ユーザー登録ウィザード」にアスタリスクに関する説明がない

問題の概要:Web コンソールで、「新規ユーザーの詳細」フォームおよび「ユーザー認証の詳細」フォームにはアスタリスクが含まれていますが、フォームにはアスタリスクが必須のフィールドを示しているという説明がありません。

対処方法:オンラインヘルプに、どのフィールドが必須であるかが記載されています。

6502100:WSDL カタログ化サービスがスラッシュで終了する java.io.tmpdir を処理しない

問題の概要:JVM プロパティー `java.io.tmpdir` がスラッシュ (/) で終わる値に設定されている場合、zip ファイル上の WSDL カタログ作成サービスを使用しようとすると失敗します。この失敗は、カタログ化サービスが要求中のファイルの1つを見つけられなかったというメッセージを含む `CatalogingException` として示されます。

この問題は、`java.io.tmpdir` のデフォルトの設定がスラッシュで終了しない Linux では発生しません。

対処方法: `java.io.tmpdir` の値を変更し、スラッシュで終了しないようにします。

次の手順を実行します。

1. 『Service Registry 3.1 管理ガイド』の「Application Server 管理コンソールを使用する」の説明に従って、Application Server の管理コンソールにログインします。
2. 「設定」ノードを開きます。
3. サーバーノード `server-config (Admin Config)` を開きます。
4. 「JVM 設定」をクリックします。
5. 「JVM オプション」タブをクリックします。
6. 「JVM オプションを追加」をクリックします。
7. テキストフィールドに、次の行を入力します。
`-Djava.io.tmpdir=c:\DOCUME~1\ADMINI~1\LOCALS~1\Temp`
8. 「保存」をクリックします。
9. 『Service Registry 3.1 管理ガイド』の「レジストリ用 Application Server ドメインを停止および再起動する」にある説明に従います。

これらの手順を実行したあと、複数の WSDL ファイルを含む zip ファイルを発行できるようになります。

各国語化の問題

Service Registry 3.1 の次のバグが、ローカライズに関連しています。

6276676:Web コンソールに、ローカライズされた文字列が表示されない

問題の概要:Web コンソールでは、次のようなローカライズされるべき文字列が英語で表示されることがあります。

- 「新規レジストリオブジェクトの作成」ページのタブ
- 「カスタマイズ」ページのサポートされる言語のリスト
- 「ようこそ」ページ、著作権表記、タイトル部分
- 電話番号および電子メールアドレスの種類のドロップダウンリスト
- ログメッセージ

また、ブラウザのロケールを切り替えて言語をリセットしたときに、一部のラベルが前の言語のままで表示されます。

6493416: オンラインヘルプのリンクが英語ページになっている

問題の概要: オンラインヘルプが利用可能な英語以外のロケールで Web コンソールを使用している場合、検索結果ページの「ブックマークと関連付けのヘルプ」のリンクは、使用しているロケールではなく英語のページへリンクされています。

対処方法: ありません。

6496070: イベントタイプ名が、どのロケールにも翻訳されていない

問題の概要: Web コンソールの「詳細」領域内のオブジェクトで「監査証跡」タブをクリックすると、「イベントタイプ」フィールド (Created、Updated など) のテキストが常に英語で表示されます。

対処方法: ありません。

6499672: 英語以外のロケールで、オンラインヘルプのページが 2 ページ足りない

問題の概要: Web コンソールのオンラインヘルプでは、英語以外のすべてのロケールで最後の章 (トラブルシューティング) の最後の 2 つの節が欠けています。

対処方法: 対象となる節はオンラインマニュアルに存在しますが、英語のみとなっています。『Service Registry 3.1 ユーザーズガイド』を参照してください。

6500664: 日本語ロケールのオンラインヘルプで翻訳されていない文字列がある

問題の概要: Web コンソールのオンラインヘルプで、ほかのマニュアルへの相互参照 (たとえば、『Service Registry 3.1 管理ガイド』) は、日本語に翻訳されていません。

対処方法: ありません。

6500673: 日本語ロケールで名前と住所の順序が正しくない

問題の概要: Web コンソールの「ユーザー登録」ウィザードで、名前および住所フィールドの順序が日本語ロケール用にローカライズされていません。

対処方法: ありません。

6500677: 日本語ロケールでオンラインヘルプに不正なリンクがある

問題の概要: 日本語ロケールの Web コンソールのオンラインヘルプにある「はじめに」の部分で、「Default Paths and File Names」の節が表示されたときに「次へ」のリンクをクリックしても、「Page Not Found」のエラーが表示されます。このリンクは、存在しないページへのリンクです。

対処方法: ありません。

6507818: 英語以外のロケールの『Service Registry ユーザーズガイド』が存在しない

問題の概要: Windows 上では英語以外のロケールの『Service Registry ユーザーズガイド』は存在しません。

対処方法: ありません。

6510165: 「詳細」タブのオブジェクト名が翻訳されていない

問題の概要: Web コンソールのオブジェクト用の「詳細」領域で、「詳細」タブのオブジェクトの名前が翻訳されていません。代わりに、Java オブジェクト名が使用されています。また、フランス語ロケールでは語順が正しくありません。

対処方法:ありません。

マニュアルに関する情報

Service Registry 3.1 の次のバグが、マニュアルに関連しています。

6500315: オンラインヘルプのページが1 ページ足りない

問題の概要:Web コンソールのオンラインヘルプで、「はじめに」の「Searching Sun Product Documentation」の節が欠けています(すべてのロケール)。

対処方法:完全な「はじめに」(英語)は、オンラインの『Service Registry 3.1 ユーザーズガイド』でオンラインで参照できます。

6501734: オンラインヘルプで、ディレクトリの探索の名前が間違っている

問題の概要:Web コンソールで、「探索」タブのオンラインヘルプではルートディレクトリ名が誤って root と記載されています。正しくは、registry です。

対処方法:正しい記載は『Service Registry 3.1 ユーザーズガイド』にあります。

